

防風林の維持へ植樹

森林保全ボランティア組織「きんたろう倶楽部」（鏡森定信理事長）と富山森林管理署は8日、富山市稲代（大沢野）の国有林で、防風林の維持に向けた植樹を行った。

作業した約4000平方メートルのスギ林は



近隣の住宅の防風林として機能しているが、竹の繁茂などで維持が難しくなっている。4月には竹を伐採。この日は、無花粉スギ「はるよこい」やマツ、コナラ、クヌギなど計8

種類305本を植えた一写真。

約20人の参加者は、竹の根が広がって硬くなった土をシャベルやくわを使って掘り起こし、高さ約40センチの苗木を丁寧に植えていた。